

第 2 期  
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～  
令和 4 年度進捗状況報告書  
(案)

令和 5 年 7 月  
射 水 市

# 目次

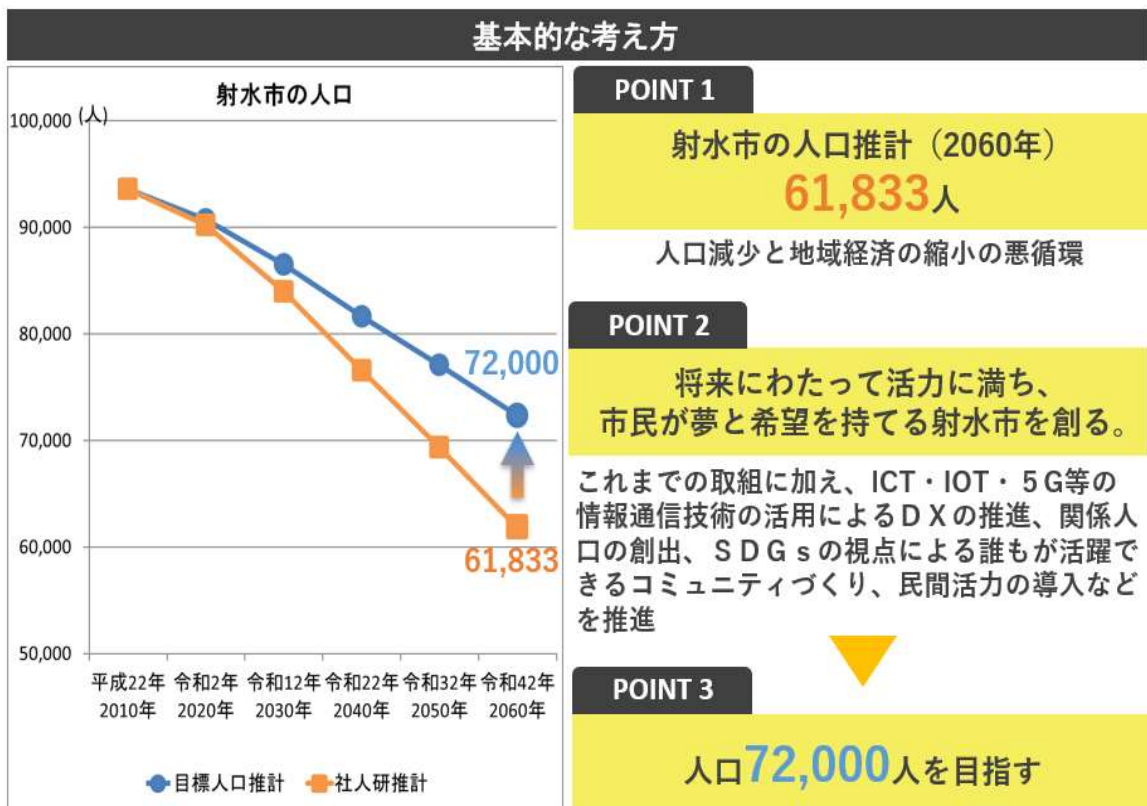
1	報告書策定の趣旨 .....	1
2	人口の状況 .....	2
3	評価の方法 .....	3
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況 .....	4
5	総合戦略の改訂 .....	12
6	令和4年度地方創生交付金活用事業の効果検証 .....	12
7	総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標 .....	19

# 1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定した。令和元年度には第1期の検証等を踏まえ、第2期総合戦略（令和2年度～令和6年度）を新たに策定している。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、各施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、第2期の3年目である令和4年度の進捗状況について報告するものである。

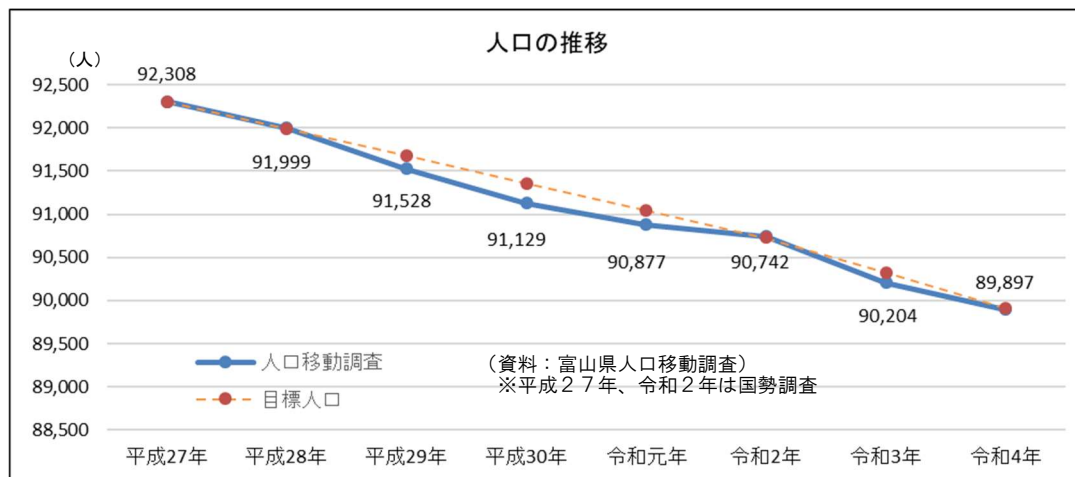


- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| <b>基本目標<br/>1</b> | 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり |
| <b>基本目標<br/>2</b> | 地域のしごとづくり              |
| <b>基本目標<br/>3</b> | 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり |
| <b>基本目標<br/>4</b> | 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり |

## 2 人口の状況

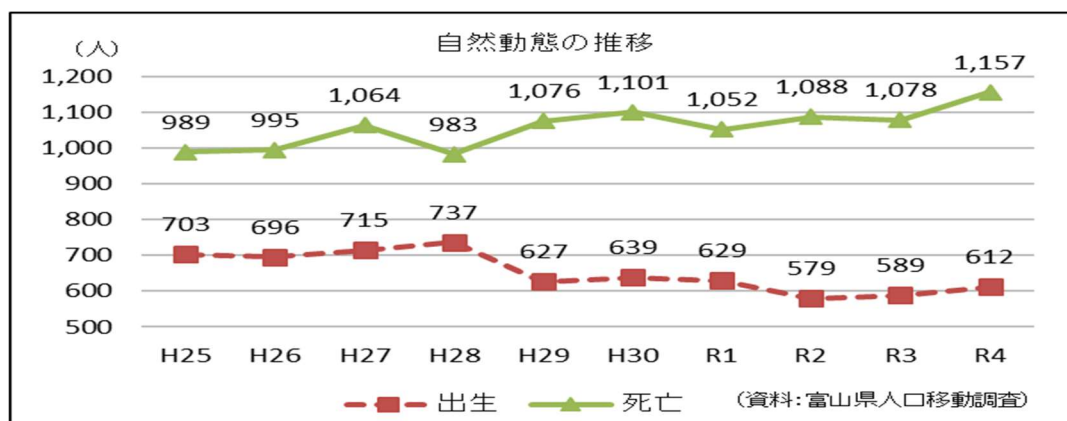
### (1) 人口の現状

令和4年10月1日現在の本市の総人口は89,897人で、前年と比較して307人、0.34パーセントの減となった。目標人口89,915人を18人下回っているが、前年と比較してその差は小さくなっている。

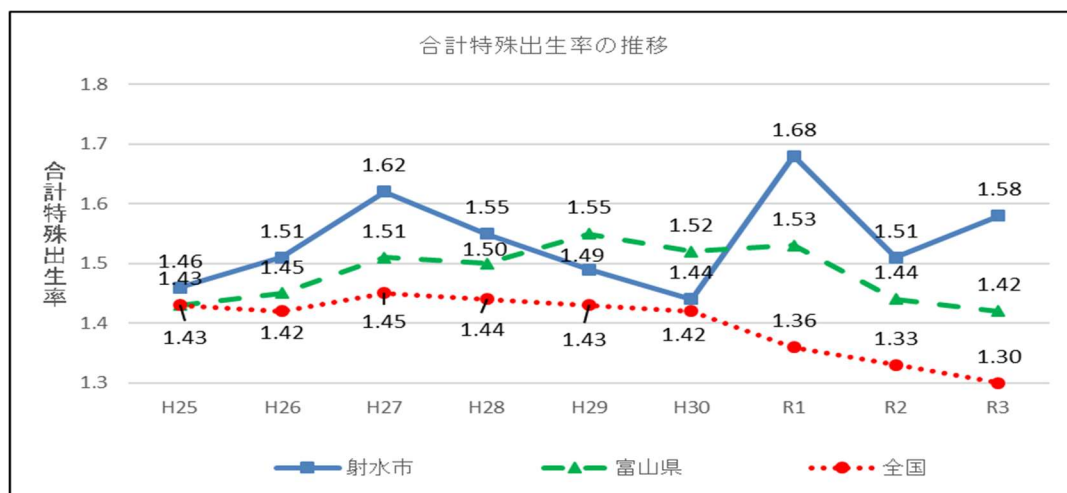


### (2) 自然動態

① 令和4年の出生者数は612人で、前年と比べ23人増加した。死亡者数は1,157人で、前年と比べ79人増加し、自然動態は545人のマイナスとなった。

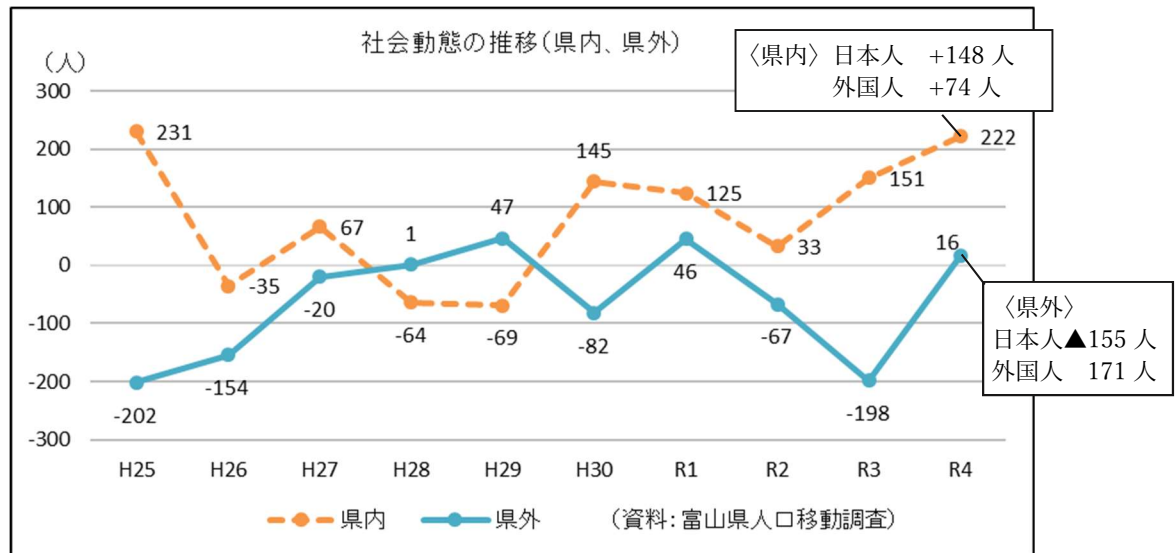
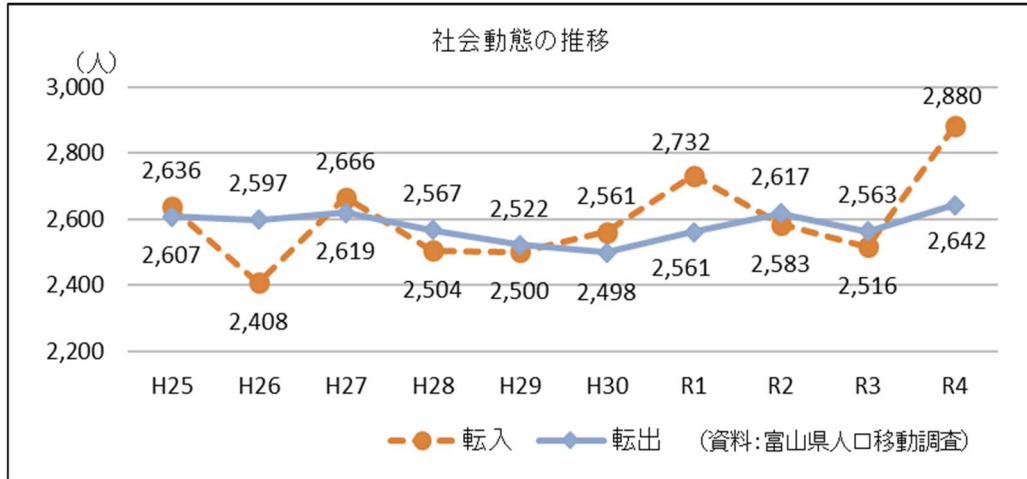


② 令和3年の合計特殊出生率は1.58であり、前年から0.07ポイント上昇した。前年に引き続き国及び県の数値よりも上回っている。



### (3) 社会動態

令和4年の転入者数は2,880人で、転出者数の2,642人を上回り、社会動態は238人のプラスとなった。また、県内・県外別の移動では、県内で222人、県外で16人とそれぞれ転入超過となった。これは、前年に引き続き日本人の県内移動が増加したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限が緩和され、外国人の転入者が増加したことによるものと考えられる。



### 3 評価の方法

第2期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を次の5段階で評価を行う。

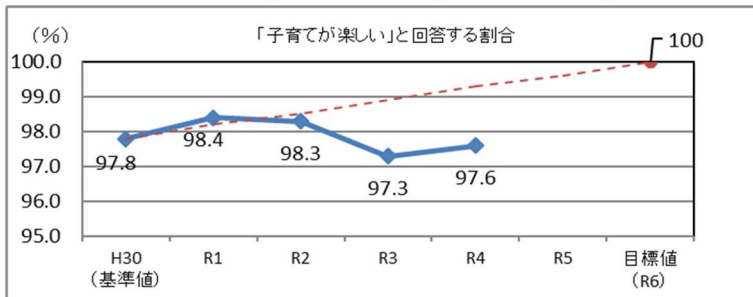
- (1) 達成 …… 最終年度の目標値を達成している。
- (2) 順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が66%以上
- (3) 概ね順調 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が33%以上66%未満
- (4) 維持 …… 目標値に対して基準値からの進捗率が33%未満
- (5) 遅れ …… 基準値を下回っている。

#### 4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

##### 基本目標 1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.8%	97.6%	100.0%

進捗度  
遅れ



##### <主な取組及び成果>

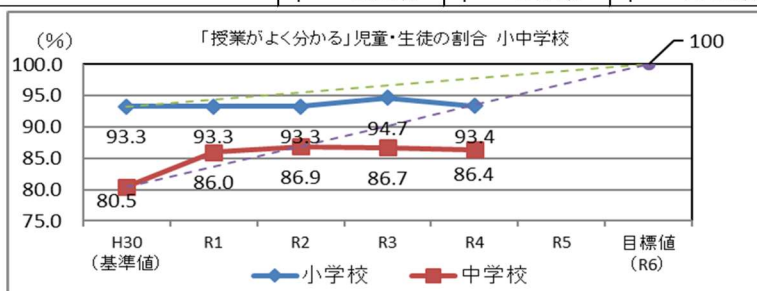
- 平成29年度に子ども子育て総合支援センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えている。
- 妊娠届時・妊娠8か月時・出産後に母等と面談を行う「伴走型相談支援事業」を令和5年1月から新たに実施し、切れ目のない支援体制を拡充した。
- 産後ケア事業(日帰り型・宿泊型・訪問型)、産後家事サポート事業、母子保健推進員による妊娠期及び6～7か月児への家庭訪問を実施し、産前・産後サポート体制の充実を図った。

##### <今後の取組>

- いみずママベビサポート事業の拡充として、産後うつ予防と母親の交流の場づくりを目的とした「いみずっ子Babyの会」を開催する。
- すべての妊産婦や子育て家庭に寄り添い、伴走型相談支援事業を引き続き実施する。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小 93.3%	小 93.4%	小 100.0%
	中 80.5%	中 86.4%	中 100.0%

進捗度  
維持



##### <主な取組及び成果>

- 「射水スタンダード～授業ABC～」の実践の浸透により、児童生徒の自尊感情の高まりにつながっている。また、一定の授業力を身につけた教員の更なる向上を促すため、新たに「射水スタンダード～授業ABC Next～」を作成した。
- 学習サポーターを39人、チームティーチング指導員を8人配置し、きめ細かな学習指導・生活指導を行うとともに教員の負担軽減を図った。欠席の場合、希望に応じて学習専用端末を活用したオンライン授業を配信し、個に応じた指導の充実を図った。

##### <今後の取組>

- 子どもの主体的な学びを引き出す授業を目指し、「射水スタンダード～授業ABC Next～」を意識した実践を促進し、児童生徒の自尊感情を高めることによる学習意欲の喚起について継続的に取り組む。
- 新たに作成した「ICTスキルスタンダード」及び「ICT活用のヒント集」の活用を推進し、学年に応じたICTスキルの着実な習得や教員の学習指導の充実を図る。



## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	1	0	4	8

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

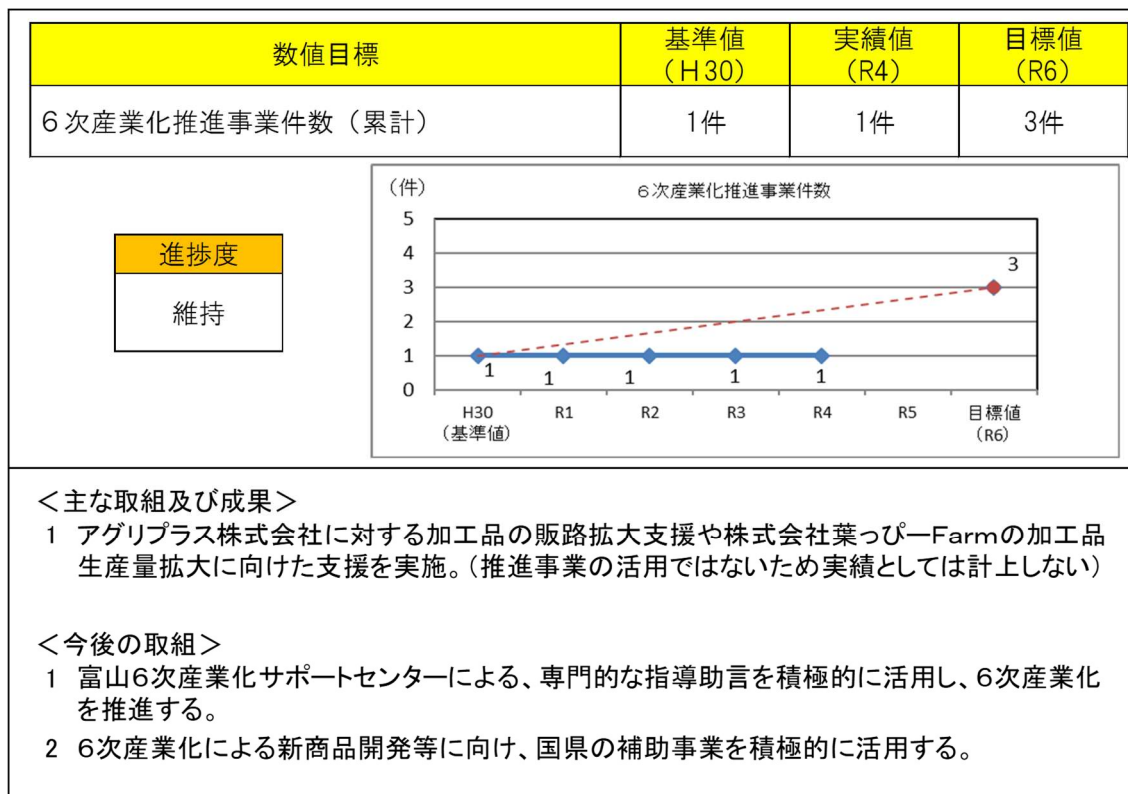
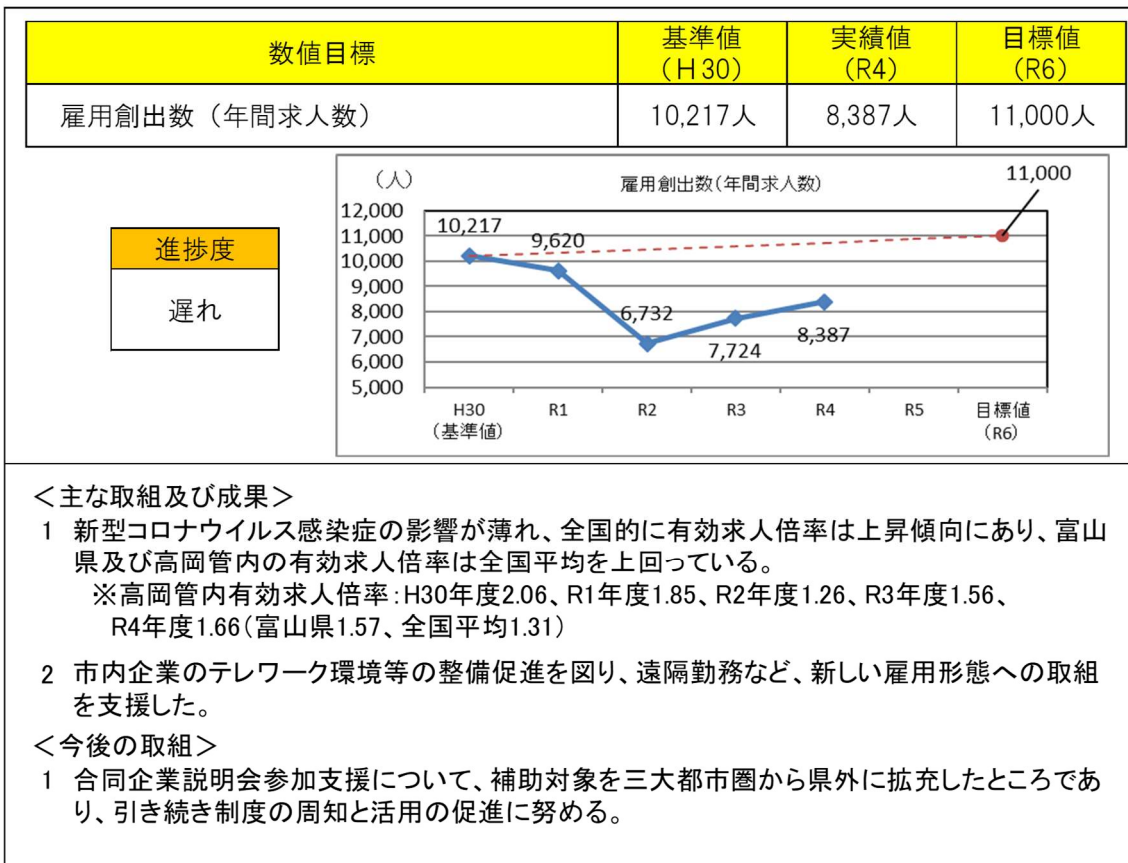
KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	4 件	5 件	8 件	維持
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センター(市内9か所)の年間利用者数	50,122 人	23,598 人	55,000 人	遅れ
4	新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	(基準値R1) 89.0 %	100 %	100 %	達成
5	新 R5 子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数	729 件	1,581 件	2,000 件	順調
6	新 赤ちゃんの駅設置箇所数	37 箇所	38 箇所	45 箇所	維持
7	男性の育児休業取得率	18.9 %	37.3 %	20.0 %	達成
8	3歳6か月児健康診査の受診率	99.2 %	99.3 %	100 %	維持
9	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)88.2 %	(小学校)83.7 %	(小学校)100 %	遅れ
		(中学校)68.3 %	(中学校)61.5 %	(中学校)100 %	遅れ
10	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)79.3 %	(小学校)67.7 %	増加	遅れ
		(中学校)61.2 %	(中学校)56.5 %	増加	遅れ
11	不登校児童・生徒数	(小学校)32 人	(小学校)54 人	減少	遅れ
		(中学校)63 人	(中学校)117 人	減少	遅れ
12	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	994 人	972 人	1,100 人	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

- 「男女出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベントや市が助成し民間が主催するイベントを5回開催したところ、16組のカップルが成立した。
- 「休日保育実施保育園数」は、民間事業所内保育施設1園が開始したため、増となった。
- 「男性の育児休業取得率」は21.7%上昇した。調査対象者（対象企業）は毎年異なるため、引き続き、商工団体の会議等の機会を捉えて周知を行い、企業の意識改革や育児休業取得の促進に努める。
- 「不登校児童・生徒数」については、小・中学校とも増加しており、依然として中学校での不登校生徒の割合は高い状況にある。学習用端末を活用したきめ細やかな支援を継続するとともに、WEBQU調査を実施し、学級生活への満足度と意欲を高める学級経営の実現を図る。
- 「家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、開催数をコロナ禍前の水準とすることで参加者数の回復が見られた。

## 基本目標 2 地域のしごとづくり





## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	2	2	1	2	3

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
13	市内企業団地分譲率	97.6 %	98.1 %	100 %	維持
14	創業支援事業補助金年間 利用件数	15 件	19 件	20 件	順調
15	産学官金連携による共同 研究の年間件数	14 件	4 件	15 件	遅れ
16	新 射水ブランド商品開発等支援補 助金を活用した延べ件数	1 件	3 件	7 件	概ね順調
17	新 養殖サクラマスの年間出 荷数	17,200 尾/年	10,420 尾/年	40,000 尾/年	遅れ
18	新 IT、IoTを活用して生産性向上 に取り組む事業者の割合	0.0 %	24.4 %	30.0 %	順調
19	新 R2 テレワークを実施している 企業数	(基準値R2) 0 件	48 件	増加	達成
20	新 長時間労働の削減に取り 組む事業者の割合	56.3 %	66.5 %	65.0 %	達成
21	中小企業退職共済加入者 数	3,759 人	3,845 人	4,200 人	維持
22	人材確保充足数	1,601 件	1,243 件	1,650 件	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2…令和2年度改訂時に新たに設定したもの

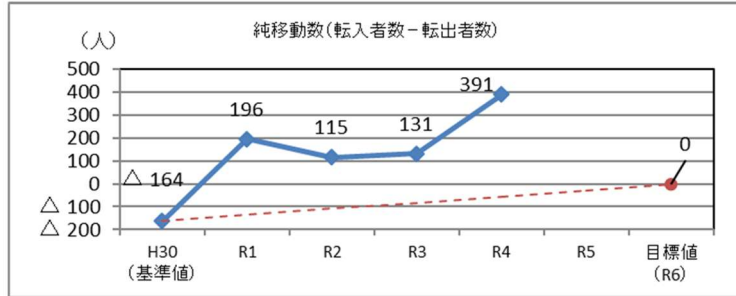
- 「市内企業団地分譲率」は、富山新港臨海工業用地1区画の売却により0.5%上昇した。
- 「創業支援事業補助金年間利用件数」は6件増加しており、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、多様な働き方への関心が高まり、創業機運が高まってきていると考えられる。引き続き「創業無関心」へアプローチするとともに、創業者と廃業者の事業承継に繋げる取組等を実施し、市内創業の促進を図る。
- 「産学官金連携による共同研究の年間件数」については、2年ぶりに対面型での相談会を開催したものの、相談件数は減少している。
- 「IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合」は2.6%上昇し、「テレワークを実施している企業数」は13件増加した。どちらも調査対象企業は毎年異なるため、引き続き「IT活用支援事業補助金」や令和4年度に新設した「中小企業DX推進事業補助金」の周知・活用促進を通じて、中小企業のIT、IoTを活用した生産性の向上やテレワークの環境の整備を支援する。また、DXセミナーやDX個別相談会を開催し、中小企業の課題・ニーズを把握し、必要な支援へ繋げていく。
- 「人材確保充足数」については、求人が求職を大幅に上回って推移し、持ち直しの動きが見られる。射水市雇用対策推進協議会による企業見学バスツアーを開催し、市内企業と求職者とのマッチングを図る。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
純移動数(転入者数-転出者数)	△164人	391人	0人(均衡)

※直近5年間の累計

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

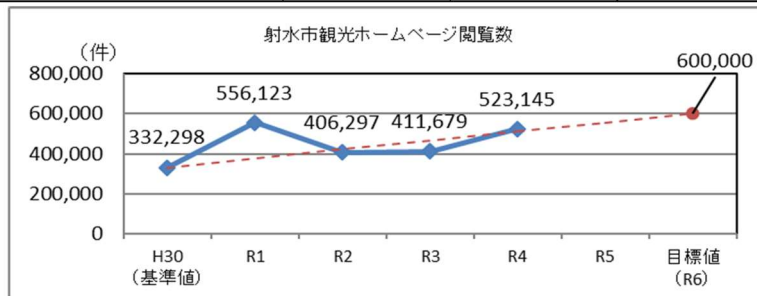
- 外国人の転入者が前年比で242人増加したことにより、令和4年の社会動態は238人のプラスとなった。このほか、新型コロナウイルス感染症の影響等で地方移住への機運が高まっている中、富山県や呉西圏域でのオンラインセミナーや東京での移住セミナーに参加し、県外からの移住希望者にPRを行ったが、日本人については県外への転出を上回るほど転入者は増加しなかった。

<今後の取組>

- 技能実習生など外国人の転入が多いことから、多言語対応や地域との繋がりを大切にする取組を進め、外国人にとっても住みよいまちづくりを進める。
- 若者の定住やUIターン促進に一層努めるとともに、多くの人に本市を訪れてもらえるような施策を様々な分野で展開していく。
- 引き続き本市へのUIターンを促進するため、県外の高等教育機関に在学する学生の市内企業への就職活動等に係る交通費の一部を支援する「学生UIターン応援事業」に引き続き取り組む。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
射水市観光ホームページ閲覧数	332,298件	523,145件	600,000件

進捗度
順調



<主な取組及び成果>

- 新型コロナウイルス感染症に関する情報(施設・飲食店の営業時間の変更など)をすばやく正確に情報発信することで、市民の安全安心の確保に努めた。
- 24時間応答可能なAIチャットボットの導入や9言語(日本語、英語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、韓国語、タイ語)対応の観光サイトJFM(JAPAN in JAPAN for Municipality)の射水市紹介ページにアクセスできるバナー画像を設置した。

<今後の取組>

- メディアの露出に対応した内容を掲載する等、効果的な発信を行い、アクセス数を伸ばす。

## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	5	2	0	1	8

※把握できなかった1件を除いて計上

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
23	新 移住施策を活用して市外から移住した延べ人数	88人	84人	100人	遅れ
24	新 指定宅地における住宅建築率	41.9%	47.6%	50.0%	順調
25	住宅相談窓口年間相談数	36件	56件	45件	達成
26	空き家の有効活用支援延べ件数(サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)(累計)	1件	7件	3件	達成
27	新 空き家情報バンクへの登録件数	36件	29件	40件	遅れ
28	ロケ地来訪者(川の駅)数	45,835人/年	38,201人/年	50,000人/年	遅れ
29	海王丸パーク周辺入込数	1,767,400人/年	1,161,880人/年	1,850,000人/年	遅れ
30	新 継続的に射水市にふるさと納税をした人数	295人/年	345人/年	320人/年	達成
31	新 R2 市LINE公式アカウント友だち数	(基準値R2) 0人	21,069人	25,000人	順調
32	新 フットボールセンターの年間利用者数	0人/年	66,814人/年	60,000人/年	達成
33	コミュニティバス等乗車人数	418,572人/年	359,294人/年	450,000人/年	遅れ
34	万葉線乗車人数	1,192,041人/年	1,002,000人/年	1,200,000人/年	遅れ
35	新 小杉駅、越中大門駅の乗車人数	1,558千人/年	1,471千人/年	1,643千人/年	遅れ
36	市内企業に就職したい学生の割合	50.7%	70.0%	70.0%	達成
37	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	97.2%	91.0%	98.5%	遅れ
38	合同企業説明会の学生参加者数	18人/年	事業終了により未実施	90人/年	計測不可
39	新 R5 まちづくりに参画した学生・生徒の数	(基準値R4) 437人	437人	503人	維持

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2、新 R5…各年度改訂時に新たに設定したもの

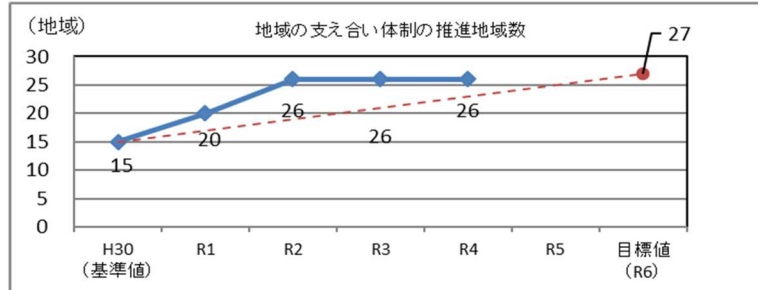
※計測不可…令和5年9月時点において、集計できなかったもの

- 「移住施策を活用して市外から移住した延べ人数」については、空き家情報バンクに掲載した物件を購入して移住された方のほか、若者世帯に対する家賃補助制度や移住支援金制度の利用者が増加した。令和4年度に整備した移住体験交流施設を活用した移住体験ツアーの開催や移住専用サイトの活用による移住希望者へのPR強化を図る。
- 「学生訪問支援事業の参加学生の満足度」については、バスツアーを1コース増やして2コース実施し、参加者数も増加した。就職を考える上での参考になったという意見が多いことから、引き続き満足度の高いツアー内容を検討し実施する。
- 「合同企業説明会の学生参加者数」については、参加者（事業者・学生）ニーズ等を踏まえて合同企業説明会事業を終了し、企業の採用活動支援を補助する取組に切り替えて実施し、市内企業で就職する学生数の増加に努める。

## 基本目標4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
地域の支え合い体制の推進地域数	15地域	26地域	27地域

進捗度
順調



### <主な取組及び成果>

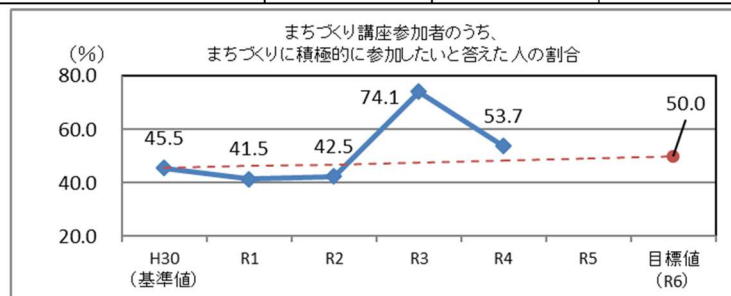
- 1 高齢者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域振興会単位で住民主体の多様な地域活動の創出及び地域の支え合い体制の整備を推進した。

### <今後の取組>

- 1 生活支援コーディネーター(第1層[市]、第2層[地域包括支援センター]、第3層[地域振興会])による生活支援や介護予防サービス体制を充実する。
- 2 市内全域での事業実施及び地域での住民主体の多様な支え合い活動が、より充実するよう支援する。
- 3 未整備地区に対して、体制整備に向けた支援を継続する。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R4)	目標値 (R6)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	45.5%	53.7%	50.0%

進捗度
達成



### <主な取組及び成果>

- 1 「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、地域振興会やNPO法人の活動、歴史的建造物めぐりなど、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。
- 2 「射水市まちづくりセミナー」を実施し、ゲーム形式での実践的な内容の実施やファシリテーション講座を開催し、参加者のスキルアップを図った。

### <今後の取組>

- 1 引き続き民間活力を導入し、協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。また、参加者アンケートを実施し、事業効果の検証を行う。

## 重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	4	4	4	2

KPI		基準値 (平成30年度)	実績 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	進捗
40	総合患者満足度数	4.13 点	4.18 点	4.15 点	達成
41	防災士取得者数	109 人	166 人	162 人	達成
42	消防団員数	707 人	679 人	757 人	遅れ
43 新	一人/日当たりのごみの排出量	(基準値H27) 1,117 g	(実績値R3) 1085 g	1,006 g	維持
44 新	リサイクル率	(基準値R2) 20.9 %	(実績値R3) 21.9 %	22.1 %	順調
45	まちづくり講座受講者数	22 人/年	112 人/年	200 人/年	概ね順調
46 新	事業運営を担う中核的法人数	0 法人	1 法人	2 法人	概ね順調
47	元気な高齢者の割合	82.0 %	81.1 %	78.0 %	維持
48 新 R3	セミナー受講者の満足度	(基準値R3) 0 %	64 %	80 %	順調
49 新 R3	女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	(基準値R3) 0 件	6 件	20 件	維持
50 新	多文化こどもサポートセンターの年間参加者数	176 人	205 人	200 人	達成
51	見直しする公共施設数	32 件	39 件	42 件	順調
52	ICカードの多目的利用業務数	4 業務	5 業務	10 業務	維持
53 新	IoT活用延べ業務数	0 業務	6 業務	15 業務	概ね順調
54 新	RPA活用延べ業務数	0 業務	16 業務	20 業務	順調
55 新 R2	テレワーク活用延べ件数	(基準値R1) 0 件	143 件	360 件	概ね順調
56	呉西圏域で連携して取り組む事業数	32 件	31 件	33 件	遅れ

※新…第2期総合戦略策定時に新たに設定したもの

※新 R2、新 R3…各年度改訂時に新たに設定したもの

- 「事業運営を担う中核的法人数」については、足洗老人福祉センター跡地に民間事業者による温泉資源を活用した交流施設が整備され、令和4年度には賑わい創出イベントが実施された。
- 「セミナー受講者の満足度」については、令和4年度に「いみずキャリアステップ応援塾」を開講し、市内事業所等における女性の活躍を推進し、女性リーダーとしての役割を担うことができる女性の育成、市内事業所等間の女性のネットワーク形成を図った。
- 「女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数」については、出産・育児・介護等のために離職した、または非正規雇用の形態で働く女性が就職や起業等に有効な資格を取得するための経費への補助制度を令和4年度から開始した。市ホームページや広報、SNSを活用し、補助制度の周知を図る。



## 5 総合戦略の改訂

令和4年12月に変更された国の総合戦略や第3次射水市総合計画の策定に伴い、令和5年度内の改訂を行う。

## 6 令和4年度地方創生交付金活用事業の効果検証

令和4年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

### ①高齢者と観光客が融合するまち「射水」創造事業

事業費 34,981千円  
 交付金額 17,345千円

<事業概要>R1~R5

①観光客の玄関口である北陸新幹線新高岡駅から新湊地区、そしてあいの風とやま鉄道小杉駅を結ぶ周遊バス等を運行し、交流人口の拡大によるにぎわいの創出を図る。

②新湊地区にある複数の観光地と既存商店街とを結ぶ移動手段として、電動カートや電気自動車の導入を図り、観光客の利便性向上とともに、地域の高齢者の買い物の足とすることで、商店街の復興と活性化を図る。また、地域資源の掘り起こしによる新商品開発による販路拡大や創業支援による新規出店を促すため、キッチンカーの活用を図る。

③本市の玄関口である小杉駅から観光客を新湊地区に誘導する方策を検討する。

KPI		H30	R4	R5
商店街等新規出店支援事業補助金交付件数(件)(累計)	目標値		10件	13件
	実績値	0件	6件	
内川(川の駅)来訪者数(人)	目標値		45,970人	46,370人
	実績値	44,370人	38,201人	
あいの風とやま鉄道小杉駅乗車数(一日当たり)(人)	目標値		3,208人	3,213人
	実績値	3,188人	3,020人	
元気な高齢者の割合(要介護認定等を受けていない者の割合)(%)	目標値		81.0%	81.0%
	実績値	81.0%	81.2%	

<主な取組及び成果>

- 前年度実施の検証結果を踏まえ、県内最大の交通拠点である富山駅との接続を強化するため富山駅とベイエリアを結ぶ既存路線(ぶりにかにバス)の増便運行を行った。利用者数は増便分で1便あたり9.9人であった。
- 前年度実施した、電気三輪自動車を活用した新たな地域公共交通「べいぐるん」及び新たな観光モビリティ「べいかーと」の実証運行の検証結果を踏まえ、運行範囲や運行方法等を変更するとともに、新たに観光モビリティとして電動三輪バイクを2台導入し、再度実証運行を実施した。また、キッチンカーの利活用については、商工会議所と連携し、キッチンカーの周知や、創業・事業者支援に取り組んだ。加えて、SNSで人気の高いイナガキャスト氏のポスターを用いた県内外のプロモーションや、「暮らすように旅をする」をテーマとした観光PR動画を制作し、情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

周遊バス等運行事業については、引き続き海の幸が魅力的な年度後半にぶりにかにバスの増便を実施する。商店街復興及び活性化等事業については、べいぐるん及びべいかーとについて、前年度の実証運行の検証結果を踏まえ、運行内容等を見直して再度実証運行を実施し、地元商店街の産業振興と高齢者にやさしいまちづくりに繋げるための運行内容を確立する。また、創業者支援・販路拡大支援事業については、引き続き補助事業の周知に努めるとともに、商工団体等と連携しながら、商店街等の賑わい創出につながる事業者・創業者の出店を促進することに加え、県内外への販路拡大を支援していく。



②アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり

事業費 2,311千円  
 交付金額 1,155千円

<事業概要>R3~R5

「数」以上に「質」を重視し、何度でも訪れたい「選ばれ続ける観光地」としても魅力を向上させることで、コアな富山ファン・リピーターの獲得や消費単価・滞在日数の増を図るため、(公社)とやま観光推進機構を中核とし、県内15市町村や地域の多様な産業・人材が参画した地域主導による「稼げる」観光地づくりを推進する。平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、官民一体となって取り組むもの。

- アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
- 北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
- 「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
- 美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

KPI		R2	R3※	R5
観光消費額単価(宿泊・日帰り(円/人回))	目標値		9,120円	9,600円
	実績値	8,880円	11,075円	
観光客入込数(実数)(千人)	目標値		11,069千人	11,134千人
	実績値	11,039千人	10,737千人	
日本橋富山館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数(人)	目標値		22,500人	35,000人
	実績値	15,000人	13,732人	
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値		420,000人	570,000人
	実績値	400,000人	559,457人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

<主な取組及び成果>

とやま観光推進機構が企画するWEBサイト(VISIT富山県)の旅行商品として、射水の新鮮な海の幸を味わう「新湊S級グルメ」や「日本のベニス内川」等の日帰りツアーを販売し、市内への誘客を図った。また、射水市公式フォトアンバサダーでもあるイナガキヤスト氏の内川等の写真も活用し、市内の魅力の発信に取り組んだ。

<今後の取組>

引き続き、とやま観光推進機構を中心に、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力しながら、本市としても観光振興施策に取り組む。

③「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローバル交通ネットワーク形成事業

事業費 830千円  
 交付金額 435千円

<事業概要>R1～R5

●地域公共交通ネットワークの確保・充実

県民・観光客等の地域公共交通の利用が進むよう、県・市町村・交通事業者が連携を図り、バスの乗継案内・運行情報(遅延情報)や沿線の観光情報の情報提供(多言語化対応)、運行間隔の短縮のための増便、条件不利地域(過疎地域等の中山間地域)での利用活性に向けた調査・実証運行等を行うなど、ニーズに応じた交通サービスの提供や接続利便性の向上により地域公共交通ネットワークの再構築を進める。

●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実

県内や県外との周遊機能を高めるため、新幹線駅・拠点駅等と県内観光地・隣県観光地とスムーズに周遊できる広域的な公共交通サービスの充実や、多彩な鉄道・軌道を活かしたツーリズムの活性化に取り組む。

●富山空港の機能の充実

・羽田線の維持・充実、関西、九州・沖縄などへの新規路線やチャーター便の開拓など、国内航空ネットワークの充実、及び国際路線の維持・拡充に取り組む。

・空港の利便性の向上や活性化を促進、及び空港内の施設の適切な維持管理、航空機の運航に対する安定性の確保に努める。

KPI		H30	R3※	R5
鉄軌道・バスの利用率(県民1人当たりの年間利用回数)(回)	目標値		47.60回	48.70回
	実績値	46.00回	35.90回	
観光客の県内交通機関の満足度(%)	目標値		57.8%	61.8%
	実績値	50.8%	52.7%	
農林漁業等体験者数(県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した延べ人数)(人)	目標値		73,822人	77,572人
	実績値	68,199人	30,816人	
富山空港国内・国際路線(チャーター便含む)の利用者数(人)	目標値		586,060人	600,725人
	実績値	573,120人	100,050人	

※実績値の公表が翌年度の秋以降となるため前々年度実績

<主な取組及び成果>

令和元年度に県・交通事業者と連携して開発したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行った。コロナ禍で、KPIの進捗状況は低調であったが、連携自治体・交通事業者、沿線の商店・観光施設などと協力のうえ、利用者の利便性向上に努めた。

<今後の取組>

事業期間の2年延長が承認され、今後も引き続き時刻表データの更新等システムの維持管理を適切に実施するとともに、データの利活用や利用促進に取り組み、観光客等への情報提供や、乗りやすく便利な交通環境を整備することにより、交通ネットワークの構築を図る。

④開陳な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト

事業費 4,196千円  
 交付金額 2,098千円

<事業概要>R4～R6

- 県・市町村が一体となりカーボンニュートラルをより総合的・分野横断的に推進するため、「富山県カーボンニュートラル推進本部」を設置する。
- 小水力発電の導入可能性を調査・公開し、民間事業者等による新規導入を促進し、地域活性化を図る。
- とやまアルミコンソーシアムと連携して、アルミリサイクル研究開発支援や規制緩和、企業課題解決に向けた取組への支援を実施し、アルミ産業の成長力強化を図る。
- 温室効果ガス排出を削減するため、過度な自家用車依存から脱却した地域公共交通ネットワークの再編を支援する。
- 国境を越えた課題である気候変動問題に対応するため、北東アジア地域の自治体と連携して、温暖化状況モニタリングのスキームづくりや中高生の人材育成に取り組む。
- 海王丸財団や「美しい富山湾クラブ」関連事業者のイベント・会議等実施に対して支援し、子どもたちが水資源をはじめとする自然に触れ、その保全のために取り組むことについて学ぶ機会を提供する。

KPI		R3	R4※	R6
エネルギーの消費量の2013年度比の削減率(%)	目標値		7.8%	11.1%
	実績値	6.3%		
県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画(区域施策編)の策定率(%)	目標値		40.0%	86.6%
	実績値	26.7%		
一般廃棄物循環利用率(%)	目標値		26.4%	27.2%
	実績値	26.0%		
北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数(人)	目標値		919人	979人
	実績値	889人		

※実績値の公表は翌年度の秋以降

<主な取組及び成果>

- ・ 県と連携し、「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークでのイベント時に(公財)伏木富山港・海王丸財団が主になり、カーボンニュートラルの取組についてパネル展示を行い、理念の普及に繋げた。
- ・ 県と15市町村が共同で「とやまカーボンニュートラルポータルサイト」を設置し、カーボンニュートラルについて一元的な情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

海王丸パークでのイベント、海王丸の保存活用事業を通じて、カーボンニュートラル啓発を実施し、引き続き富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。「とやまカーボンニュートラルポータルサイト」を拠点とした情報発信を行い、県全体での取組への機運を高めていく。

事業費 1,905千円  
 交付金額 952千円

<事業概要>R4~R8

●県、市町村でシームレスなデータ活用基盤を構築するとともに、オープンデータサイトの拡充や人流データ分析ツールの導入により、企業等がデータを活用できる環境を整備し、様々な地域課題の解決を図るとともに、県内産業の成長につなげる。

●関係人口の増加や官民連携のさらなる推進を図るため、対象となり得る者のニーズや属性を的確に把握するためのデータマネジメント・プラットフォームの構築や、UI・UXの向上による訴求力の向上に取り組む。

●ビックデータ等のデジタル技術を活用して地域課題解決を図る実証事業を行い、県内企業や市町村への事例を横展開し、データ活用の有効性等の周知や新しいビジネスなどの創出を図る。

●小中学生を対象としたプログラミング教育や県内大学と連携したデータサイエンス教育、DXセミナー等、産官学連携した人材育成の取組を進める。スマートフォンの操作方法等を教えることができるボランティアを県内各地で養成し、デジタルデバイドを解消することで、暮らしの向上を図る。

KPI		R3	R4※	R8
データ利活用による地域課題解決の取組み件数(件)	目標値		10件	50件
	実績値	0件		
データ利活用を推進する官民連携の組織に参加する企業・団体数(団体)	目標値		60団体	300団体
	実績値	0団体		
県立大学でのDX関連教育を受けた社会人数(人)	目標値		50人	170人
	実績値	20人		
県立大学におけるDXに関する相談受付件数(件)	目標値		5件	25件
	実績値	0件		

※実績値の公表は翌年度の秋以降

<主な取組及び成果>

センサーを活用したIoT利活用事業として、排水路やため池の水位や降積雪量の常時観測を実施している。遠隔からの危険水位の検知や降雪量の計測の実現により、現地確認に係る職員の業務の効率化が図られた。また、リアルタイムなデータ取得により、浸水想定区域への伝達や除雪車出動要請など災害等への迅速な対応が可能となり、市民サービスの向上につながっている。

<今後の取組>

引き続き、IoT利活用事業を拡充しながら、県のデータ連携基盤との連携を見据え、オープンデータカタログサイトの構築にも取り組み、データ利活用の推進につなげる。

⑥スポーツ施設を核とした地域活性化事業(地方創生拠点整備交付金事業)

事業費 1,576,132千円  
 交付金額 660,554千円

<事業概要>R2~R3

スポーツ合宿誘致への需要に対応するため、県西部唯一の人工芝グラウンド2面及び屋根付きフットサル場を整備し、スポーツ合宿誘致を通じた稼ぐ地域づくりを進めるとともに、既存イベント等を通じて近隣施設と連携し、より多くの人々を呼び込み、「射水の一大スポーツエリア スポーツ合宿等で選ばれるまち 射水」として魅力創出を図る。

整備に当たっては、地元ケーブルテレビ局と連携・協力し、ローカル5G環境を整備するとともに、AIカメラを設置した。AIカメラは自動で、撮影・収録・編集・配信を同時に行い、YouTubeなどを通して世界中に大容量動画をシームレスに同時配信することで国内はもとより、世界中の有名な指導者からの遠隔指導が可能となるほか、同時に臨場感溢れるライブ映像を提供する。

また、IoTを活用した運動解析プログラムを提供し、現地での指導環境を充実させることに加え、ローカル5G環境が整ったホテルとの連携により撮影した映像によるプレー分析をホテルで行うことを可能にした。

さらに、近接する県内有数のスポーツトレーニング施設であり、温水プール・アリーナ・各種専門的なトレーニングマシンを備えた海竜スポーツランドを開放することで、身体能力の向上を図るための複合的なトレーニングメニュー等の提供が可能となり、スポーツ合宿のニーズに対応できる環境を整える。

KPI		R1	R4	R6
フットボールセンターの利用者数(人)	目標値		50,000人	60,000人
	実績値	0人	66,814人	
スポーツ合宿の誘致件数(件)	目標値		20件	30件
	実績値	0件	7件	
全国大会開催数(件)	目標値		1件	3件
	実績値	0件	0件	
総合型地域スポーツクラブ会員加入率 (クラブ入会者数/射水市人口)(%)	目標値		4.90%	5.00%
	実績値	4.80%	4.62%	

<主な取組及び成果>

令和4年4月29日のオープン以降、フットボールセンターの利用者数は約6万6千人の利用があり、目標値を1.3倍上回った。また、多様なスポーツを体験できるイベント「オリスポフェス2022」を開催するなど、賑わい創出に努めた。加えて著名なサッカー選手が監修する教室も相次いで開校したことから競技力の向上が図られた。

<今後の取組>

県内外の多くの方に利用していただくため、大規模な大会やスポーツ合宿の誘致を進め、交流人口の増加を図り、スポーツを通じたにぎわい創出の拠点となるよう取り組んでいく。

事業費(R3) 4,707千円  
 交付金額(R3) 2,353千円

＜事業概要＞R1～R3

- 県民や経済界、市町村など県全体が一丸となって持続可能な産業振興に取り組む連携体制の構築と機運の醸成
  - ・ 県内市町村と連携し、親子連れや若年層に対して、環境保全や食品ロス、地下水の保全などSDGsに関する取組についてのシンポジウムやワークショップ、経営者向けトップセミナー、体験・啓発イベントを開催するなどSDGs理念を一層普及させる。
- 美しい富山湾の「環境」魅力の維持・向上に向けた取組みによる新たな「観光」魅力の創出
- 美しい富山湾で持続可能な漁法により漁獲した「富山のさかな」が高付加価値であることのPR
- エシカル消費のマーケット拡大に向けて特に若年層を対象に、社会や環境に配慮した消費行動を喚起
- 県民と事業者の双方に対する地下水保全の理解促進と県内外へのPR

KPI		H30	R2	R3
観光地入込数(富山湾岸エリアの主要観光地・観光施設)(万人)	目標値		328万人	333万人
	実績値	319万人	187万人	187万人
県産代表6魚種の産出額(税抜)(億円)	目標値		40.65億円	41.40億円
	実績値	39.30億円	33.25億円	※
食品ロス等削減に取り組む協力事業者数(件)	目標値		316件	351件
	実績値	246件	610件	660件

※R5.9月頃公表

＜主な取組及び成果＞

「世界で最も美しい湾クラブ」加盟記念モニュメントが設置されている海王丸パークでのイベント時に(公財)伏木富山港・海王丸財団が主になり、富山湾の環境保全などSDGsの取組についてパネル展示を行い、理念の普及に繋げた。

＜今後の取組＞

海王丸パークでのイベント、海王丸の保存活用事業を通じて、SDGs啓発を実施し、富山湾の環境保全、魅力向上等に繋げる。  
 引き続き、SDGsの普及・啓発のため、「開疎な脱炭素コミュニティ構築プロジェクト」の一事業として、令和4年度～6年度までの3か年にわたり、県連携事業を実施する。



## 7 総合戦略における数値目標及び重要業績評価指標

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり	数値目標	「子育てが楽しい」と回答する割合	H30	97.8 %	100 %	健診に来た保護者への問診結果
		「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	H30	(小)93.3 (中)80.5 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
結婚に対する支援		男女出会いイベント年間開催数	H30	4 件	8 件	婚活サポーターズクラブ主催のイベント及び市が助成し民間が主催するイベントの件数
子育て支援サービス等の充実	重要業績評価指標 (KPI)	休日保育実施保育園数	H30	9 園	10 園	休日保育を実施する保育園の数
		子育て支援センターの年間利用者数	H30	50,122 人	55,000 人	子育て支援センターの年間利用者数(市内子育て支援センター9か所の利用者の合計値)
		新 R2 射水市子育て支援センター利用者満足度	R1	89.0 %	100 %	利用者アンケートの質問事項として設定(子育て支援センター(キッズポート内)利用者へのアンケート)満足、おおむね満足の割合
		新 R5 子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数	H30	729 件	2,000 件	子育て情報ちやいる.comアプリのインストール数(累計)
男性の育児・家事参加促進		赤ちゃんの駅設置箇所数	H30	37 箇所	45 箇所	赤ちゃんの駅の設置箇所数
親と子の健康づくりの推進		男性の育児休業取得率	H30	18.9 %	20 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
未来を担う子どもたちの学力定着、たくましい子どもの育成		3歳6か月児健康診査の受診率	H30	99.2 %	100.0 %	3歳6か月児健康診査の受診率
郷土愛を育む教育の推進		家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	H30	(小)88.2 % (中)68.3 %	(小)100 % (中)100 %	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
それぞれの子どもに寄り添った教育の推進		地域の行事に参加している児童・生徒の割合	H30	(小)79.3 % (中)61.2 %	増加	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
家庭や地域における教育の充実		不登校児童・生徒数	H30	(小)32 人 (中)63 人	減少	毎年全小中学校にて実施のアンケート調査結果
基本目標2 地域のしごとづくり	数値目標	家庭教育に関する講座・学習会の年間参加者数	H30	994 人	1,100 人	いみず親学びスクール、子育て井戸端会議、家庭教育アドバイザースキルアップ研修会の参加者合計
		雇用創出数(年間求人数)	H30	10,217 人	11,000 人	ハローワーク高岡管内の年間求人数
企業等誘致の推進		6次産業化推進事業件数(累計)	H30	1 件	3 件	県の6次産業化サポートセンターを利用した事業件数
創業や意欲のある企業への支援		市内企業団地分譲率(サテライトオフィスを含む。)	H30	97.6 %	100.0 %	市内企業団地分譲率
産学官金連携による共同研究、学術交流の実施		創業支援事業補助金年間利用件数	H30	15 件	20 件	創業支援事業補助金年間利用件数
射水ブランド商品開発支援、情報発信	新	産学官金連携共同研究の年間件数	H30	14 件/年	15 件/年	共同研究の件数を富山県立大学の地域連携センターから報告
6次産業化の推進	新	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数	H30	1 件	7 件	射水ブランド商品開発等支援補助金を活用した延べ件数
情報通信技術の活用	重要業績評価指標 (KPI)	養殖サクラマス年間出荷数	H30	17,200 尾/年	40,000 尾/年	堀岡養殖漁業協同組合から報告
		IT、IoTを活用して生産性向上に取り組む事業者の割合	H30	— %	30 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果(新規に項目を設ける)
ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	新 R2	テレワークを実施している企業数	R2	—	増加	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
勤労者の福利厚生充実	新	長時間労働の削減に取り組む事業者の割合	H30	56.3 %	65 %	毎年3名以上を雇用している中小企業500社に実施するアンケート調査結果
人材確保に対する支援		中小企業退職共済加入者数	H30	3,759 人	4,200 人	中小企業退職共済から報告
		人材確保充足数	H30	1,601 件	1,650 件	ハローワークで出している市内企業の求人に対し、求職者をマッチングした件数

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり	数値目標	純移動数(転入者数ー転出者数) ※直近の5年間の累計	H30	△164 人	0 人 (均衡)	富山県人口移動調査による
	新	射水市観光ホームページ閲覧数	H30	332,298 件	600,000 件	観光協会で運営しているホームページの閲覧数(累計)
移住交流の推進	新	移住施策を活用して市外から移住した人数	H30	88 人	100 人	移住施策を活用して市外から移住した延べ人数
住宅支援	新	指定宅地における住宅建築率	H30	41.9 %	50 %	指定宅地における住宅建築率
住宅相談・住まい情報の提供		住宅相談窓口年間相談数	H30	36 件	45 件	射水市住宅関連情報提供事業の一環として設置している住宅相談所での相談件数
空き家の有効活用		空き家の有効活用支援延べ件数 (サテライトオフィス、シェアオフィスを含む。)	H30	1 件	3 件	各種助成制度を活用し、空き家の有効利用を図ったものの延べ件数
	新	空き家情報バンクへの登録件数	H30	36 件	40 件	空き家情報バンクへの登録件数
観光資源の有効活用		ロケ地(川の駅)年間来訪者数	H30	45,835 人/年	50,000 人/年	川の駅新湊の入込数
		海王丸パーク周辺年間入込数	H30	1,767,400 人/年	1,850,000 人/年	海王丸パークときとときと市場の入込数の合計
関係人口の創出	新	継続的に射水市にふるさと納税をした人数	H30	295 人/年	320 人/年	3年以上継続して射水市にふるさと納税をした人数
	新R2	市LINE公式アカウント友だち数	R2	— 人	25,000 人	市LINE公式アカウントの友だち数
スポーツによる交流人口の拡大	新	フットボールセンターの年間利用者数	H30	0 人/年	60,000 人/年	R3年度に建設予定のフットボールセンターの年間利用者数
コミュニティバス、デマンドタクシー運行の利便性向上		コミュニティバス等乗車人数	H30	418,572 人/年	450,000 人/年	コミュニティバスとデマンドタクシーの乗車人数
2次交通の充実		万葉線乗車人数	H30	1,192,041 人/年	1,200,000 人/年	万葉線の乗車人数
	新	小杉駅、越中大門駅の乗車人数	H30	1,557,820 人/年	1,642,500 人/年	あいの風とやま鉄道が発表する1日あたりの乗車人数×365日
高等教育機関、企業等と連携した学生の地元就職支援		市内企業に就職したい学生の割合	H30	50.7 %	70.0 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		学生訪問支援事業の参加学生の満足度	H30	97.2 %	98.5 %	市内企業訪問バスツアー参加者に対するアンケート調査結果
		合同企業説明会の年間学生参加数	H30	18 人/年	90 人/年	合同企業説明会の学生参加数
学生の地域活動への参画	新R5	まちづくりに参画した学生・生徒の数	R4	437 人	503 人	「射水市学生のまちづくり推進会議」の学生委員数、「いみず学生アイデアコンテスト一次審査」への応募学生数、「高等学校との連携事業」に参加した生徒の数の計(年間)

項目	新規	数値目標、KPI	基準年度	基準値	目標値 (令和6年度)	目標値の確認方法
基本目標4 安心して暮らせる時代に合ったまちづくり	数値目標	新 地域の支え合い体制の推進地域数	H30	15 地域	27 地域	地域支え合いネットワーク事業を実施している地域数
		まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	H30	45.5 %	50 %	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者に対するアンケート
医療体制の充実と質の高い医療の提供	重要業績評価指標(KPI)	総合患者満足度数	H30	4.13 点	4.15 点	入院患者を対象に行っている満足度調査の結果
地域の防災体制の整備、安全・安心な暮らしの実現		防災士取得者延べ人数	H30	109 人	162 人	防災士取得者数
		消防団員数	H30	707 人	757 人	消防団員数
低炭素・循環・自然共生による価値の創出		新 一人/日当たりのごみの排出量	H27	1,117 g	1,006 g	国報告値 ※9月議会で報告する場合、前々年度の実績値となる(各年度の国確定値の報告が翌年度の1月ごろになるため)
		新 リサイクル率	H27	30.9 %	34.5 %	
地域づくりの担い手育成、情報通信技術の活用による利便性の向上		まちづくり講座年間受講者数	H30	22 人	200 人	まちづくり講座(まちプラ、まちづくりセミナー等)への参加者数
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開		新 事業運営を担う中核的法人数	H30	0 法人	2 法人	老若男女が活躍できる「ごちゃまぜ」のまちづくりに主体的に取り組む法人数
高齢者が健康で生きがいを持ち活躍できるまちづくりの推進		元気な高齢者の割合	H30	82 %	78 %	65歳以上人口のうち、要支援・要介護認定を受けていない者の割合
女性活躍の推進		新 R3 セミナー受講者の満足度	R3	— %	80 %	セミナー受講者に対するアンケート結果
		新 R3 女性キャリアアップ応援補助金年間利用件数	R3	— 件	20 件	補助金申請件数
多様性を認め合う共生社会の実現		新 多文化こどもサポートセンターの年間参加数	H30	176 人/年	200 人/年	多文化こどもサポートセンターの年間参加数
人口減少を踏まえたストックマネジメントの強化		見直しする公共施設の延べ件数	H30	32 件	42 件	廃止した累計の施設数
情報通信技術の活用による利便性の向上及び行政の効率化		ICカードの多目的利用延べ業務数	H30	4 業務	10 業務	マイナンバーカードを利用できる業務の数
		新 IoT活用延べ業務数	H30	0 業務	15 業務	IoTを活用する市の事業の数
	新 RPA活用延べ業務数	H30	0 業務	20 業務	RPAを活用する市の事業の数	
	新 R2 テレワーク活用延べ件数	R1	0 件	360 件	市職員でテレワークを実施した件数 (目標:テレワーク端末30台×12か月)	
とやま呉西圏域連携中枢都市圏の取組強化、官民連携事業の推進		とやま呉西圏域連携中枢都市圏で取り組む事業数中、本市が参加する年間事業数	H30	32 件	33 件	とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づき実施された事業のうち、本市が参加する事業数